

赤城神社参道松並木を

赤城神社参道松並木は、慶長十七（一六一二）年に大前田村の川東彦兵衛が太田金山から採取した松苗を寄進したのがはじめと伝えられています。

現在は、群馬県自然環境保全地域に指定され、美しい日本の歴史的風土準百選にも選ばれている松並木で、全国的に見ても貴重な歴史的文化遺産です。

約三キロメートルにわたる参道松並木は、樹齢八十〜四百年のアカマツ・クロマツが約千本近くあり、その根元には、約四千株ものヤマツツジが植えられていて、ヤマツツジが開花すると見事なヤマツツジ街道となります。のんびりと、参道を歩いて赤城山南麓の自然をお楽しみください。

歩こう！

